

【別紙様式】

## 平成28年度 津山市立（勝加茂）小学校

### 改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12月末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	国語A、算数Aとも県平均とほぼ同程度の見込みである。 基礎・活用問題については、授業改善、繰り返し指導の取り組みをする。	
	<b>学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）</b>	<b>進捗状況</b>	<b>3学期及び来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）</b>
市全 体の 取組	「問題データベース」を活用し、各単元やA問題で課題のあった類似問題を取り上げ、朝自習や授業中に取組む時間を設定する。	B	○問題データベースは、課題に応じて、朝自習や家庭学習、授業の中で積極的に活用していく。
①	全校共通項目として「めあてやまとめの提示や学習の振り返りを必ず行うなどの一単位時間の学習の流れの確立、自分の考えを持ち表現する時間を確保すること、学習規律の徹底」に取り組む（授業改善）。	A	○外部講師を招き、算数の授業研究や授業公開に取り組んでいる。それぞれの研究授業の反省を基に、さらに校内研究を積極的に行っていく。 ○まとめにつながるめあてを提示し、その時間に何を教えるか、どう教えるかを意識した授業作りが進んでいる。考える場面では、ねらいによって、1人で考える、ペアで話し合う、グループで話し合う等の活動を取り入れている。互いに関わり合うことで、自分の考えを深め、表現力が育つよう取り組んでいる。
②	朝学習の時間を活用し、進級式で意欲やめあてを持たせながら、毎週水曜日に計算、金曜日に漢字の反復練習に取り組む。	A	○1年生から学習してきた計算や漢字の定着をめざし、朝学習の時間を活用して取り組んでいる。学期末には全職員で取り組みについて反省したり、本校児童の課題を把握し共通理解したりする機会を持った。課題のあった問題や類似問題等に重点を置いたプリントを繰り返し定着するまで活用していく（データベース等）。 ○学年末には、全員がたしかめテストA問題の80%以上の正答率にする。
③	「ノーメディアにチャレンジ」週間を設け、家庭での過ごし方を家族で見直す機会を作る。（勝北中ブロックで同期間に取り組む）	B	○学期に2回ずつ計4回、勝北中ブロックで同期間に取り組んできた。集計結果や考察も保護者に紹介し、家庭での過ごし方を見直してもらう機会を作った。ブロック内でも結果の交流を行っている。3学期も同期間に取り組む予定である。
※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」			